

羽島市 7地区

令和元年度事例

【地域の概要】

羽島市では、市内全域を7地域に区分して人・農地プランを策定しており、今後実質化に向けた取り組みを行う。

- | | | | |
|--------|--------------------------------|--------|-----------------------|
| ○足近地区 | 経営体の状況（個人5経営体、法人1経営体） | ○小熊地区 | 経営体の状況（個人3経営体、法人1経営体） |
| ○正木地区 | 経営体の状況（個人4経営体、法人1経営体） | ○羽島東地区 | 経営体の状況（個人1経営体、法人2経営体） |
| ○中央地区 | 経営体の状況（個人3経営体、法人1経営体） | ○下中地区 | 経営体の状況（法人2経営体） |
| ○桑原町地区 | 経営体の状況（個人5経営体、法人3経営体、集落営農1経営体） | | |

取組開始前の状況や課題

- 主に市内の農業生産は、土地利用型の水稲栽培が中心。
- 土地持ち非農家の増加。
- どの地区も担い手はいるが十分ではない。
- 担い手への集積の促進と、作業を効率化するために集約化が必要。
- 担い手（経営体）の育成、発掘。
- 大部分が市街化区域の地区は中間管理機構による集積が不可。
- 農業委員会の委員間でも人・農地プランに対する理解にかなり差がある。



田園風景

取組内容

- 市が策定した人・農地プランの実質化に農業委員会の委員が関わるうえで、委員間でも人・農地プランに対する理解にかなり差があるため、より理解を深めるために農業委員・推進委員の合同研修会を年2回（前期8月、後期2月）開催することを計画。
- 令和元年8月7日に開催した前期の研修会では、人・農地プランとは何かについて千葉県香取市市沢地区での取り組みを参考に意見交換を行うとともに、市の策定した人・農地プランの現状を把握した。



前期合同研修会

今後の展開と方向性

- 令和2年2月6日に開催した後期合同研修会では、既に策定してある人・農地プランを如何に実質化していくかについて踏み込んで検討した。
- 研修では、地域における話し合いをどのように進めていくのかについて、先進地の事例を参考に地域でのコーディネーターとしての役割について学び、その後市内3地域のグループに分かれて意見交換を行った。意見交換では、「みんなが話す。頭から否定しない。参考事例の情報提供」について実践するようにした結果、どのグループも活発な意見交換ができた。
- 来年度は、市農政課からの提案で、集積・集約化が比較的進んでいない足近地区の人・農地プランについて、他の地区に先行して実質化を図る取り組みを行うこととし、各委員が人・農地プランの実質化に向けた話し合いの場への参加や円滑な実施のための必要な協力を行う。
- 市、農業委員会、関係機関が連携して令和2年度末までに足近地区の人・農地プランの実質化を図るとともに、他の地区の人・農地プラン実質化についても引き続き協議していく。

<地図、図面、写真などの追加資料>



市中南部の集積状況



後期合同研修会



意見交換会